



ゲッケイジュ [月桂樹]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 クスノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、雌雄異株

硬い葉を揉むと芳香がする。シオネールと呼ばれる成分があり、乾燥させてシチューなどの料理に利用される。キッチン脇に植えると重宝。オリーブとともに地中海沿岸の常緑樹。雌雄異株だが日本には雄株が多く、果実がつく雌株は少ない。株立樹はシンボルツリーにもなる。



Memo

葉は、香辛料として利用される。仏名はローリエ、英名はローレルまたはベイリーフとも呼ばれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期					■							
果 実											■		
紅 葉													
施 肥		■											
剪 定			■								■		

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

「カイガラムシ」と「すす病」の被害を受けやすいので早目の対処が欠かせない。常緑樹のため「すす病」にかかった葉が年を越して残ることが多い。

剪 定

垂直に立ち枝を伸ばすため葉張りをとらない。風通し良く枝抜き剪定をし、4～5本の株立ちにすると樹形がまとまりやすい。刈り込みもできるが暖地の樹のため、寒中を避け、春または秋が適期。

病虫害

カイガラムシが発生しやすく、排泄物に「すす病(カビの一種)」が誘発される。特にゲッケイジュはこの傾向が強く、葉が一面すすで汚れたようになりやすい。